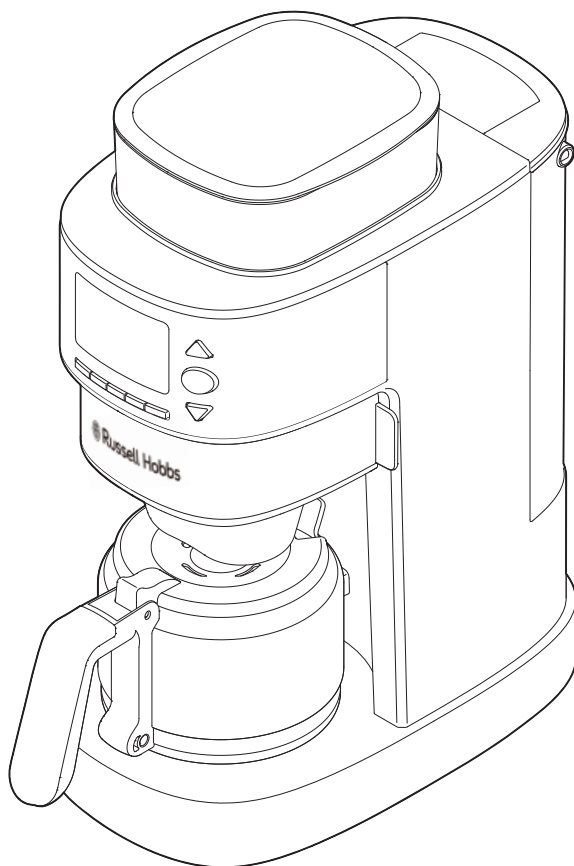


ラッセルホブス 全自動カフェドリップ 8200JP



取扱説明書 保証書

本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。

- この取扱説明書の裏表紙に保証書がついていますので、販売店とお買い上げ日のご記入を必ずお受けください。
- 必ずこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくご使用ください。

目次

はじめに	3
安全上のご注意	4～6
各部の名称とはたらき	7～8
部品を取り付ける / 取り外す	9～11
使用前の準備	12～14
ご使用方法	15～20
お手入れの仕方	21～23
故障かな?と思ったら	24
仕様	25
アフターサービス	26

この度はラッセルホブス製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ラッセルホブス製品は、ヨーロッパを始め、世界各国で高い評価をいただいているイギリスの家庭用電気製品ブランドです。本製品は、ラッセルホブスから日本向けに特別に開発されたものです。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、商品使用にお役立てください。

この取扱説明書は安全なところに保管しておいてください。

この製品を他人に譲渡する時は、取扱説明書も一緒に譲渡してください。また、包装は使用する前に取り外してください。ただし、製品が正常に動作することを確認するまでは、梱包、包装類を捨てないでください。

安全上のご注意

■ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、人体への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつも見られる場所に必ず保管してください。

表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる内容を以下の2つに区分し、説明しています。

警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷^{※1}等を負う可能性が想定される内容

注意

取り扱いを誤った場合、傷害^{※2}を負う可能性および物的損害^{※3}のみの発生が想定される内容

※1 重傷とは、失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



○の記号はしてはいけない「禁止」を示します。



一般的な禁止



水濡れ禁止



接触禁止



濡れ手禁止



分解禁止



●の記号は、必ずしていただく「強制」を示します。




必ず行う



差し込みプラグを抜く

警 告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

 子供など取扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。また、ご使用にならないときも、子供の手が届くところに置かないでください。(感電・やけど・けがの原因)

安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないようにしてください。また、製品で子供が遊ばないように注意してください。(感電・やけど・けがの原因)

電源コードを製品本体に巻き付けた状態で使用したり、破損したり、傷付けたり、加工したり、ねじったり、束ねたりしないでください。(破損・感電・ショート・火災の原因)

定格 15A・交流 100V以外を使用しないでください。(異常発熱・発火・火災の原因)

他の電気機器・電源プラグ・コンセントに蒸気を当てないでください。(電気機器の故障・感電・ショート・火災の原因)


電源コードや電源プラグが傷んでいたたり、コンセントの刃の差し込みがゆるい状態のときは使用しないでください。(感電・ショート・火災の原因)


不安定な場所や熱に弱い敷物の上、カーテンなどの可燃物や火気の近くでは使用しないでください。(火災・やけど・けがの原因)


本体の隙間にピンや針金などの金属物などを入れないでください。(感電・ショート・けがの原因)


電源コードを束ねたまま使用しないでください。(異常発熱・発火・破損・故障の原因)

カラフェがない状態で使用しないでください。(やけどの原因)


 本体を水につけたり、風呂場や流し台など水を利用する場所の近くでは使わないでください。また、屋外では使用しないでください。(ショート、感電の原因)

 使用中や使用直後は本体、ホットプレート・カラフェなど高温になっている部分には触れないでください。(やけどの原因)

 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。(感電の原因)


 分解・修理・改造は絶対にしないでください。修理はお買い上げの販売店または弊社にご相談ください。(火災・感電・けがの原因)

電源コードが破損した場合、電源コードの交換は危険を防止するために、製造業者若しくはその代理店又は同等の有資格者によって行う必要があります。

 お手入れの際や使用していない時には、電源プラグを抜いてください。(誤動作によるけが・やけど・絶縁劣化による感電や火災の原因)

電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。(感電・ショート・発火の原因)

電源プラグ、電源コードが異常発熱している場合は、直ちに使用を止め電源プラグを抜いてください。お求めの販売店または弊社にご連絡ください。(ショート・発火の原因)

 電源プラグに埃が付着している場合は、よく拭き取ってください。(発火・火災の原因)

電源プラグは根元まで確実にコンセントに差し込んでください。(感電・火災の原因)



異常、故障、破損時には、直ちに使用を中止し電源プラグを抜いてください。(発煙・発火・感電・やけどの原因)

<異常・故障例>

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードが傷ついている。
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- 電源が切れずに、通電し続ける。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- 異常な音やにおいがする。

安全上のご注意

注 意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容



壁や家具の近くで使用しないでください。(壁や家具の変色・変形の原因)

電源コードを熱器具に近づけないでください。(電源コードの破損・火災・感電の原因)

扉付きの収納棚やキャビネットの中に置いて使用しないでください。(火災・故障の原因)

直射日光が当たる場所で使用しないでください。(故障の原因)

本体の上に物を載せて使用しないでください。(発火・感電・けがの原因)

本体に布巾などをかぶせた状態で使用しないでください。(火災・故障の原因)

使用中にホッパー用フタやバスケットを開けないでください。(けが・やけどの原因)

抽出中はカラフェを本体から外さないでください。(やけど・故障の原因)

カラフェが欠けたりヒビが入っている場合は使用しないでください。(やけど・けがの原因)

カラフェをセットした状態で本体を移動させないでください。(落下による破損・けがの原因)

カラフェが空の状態のまま保温しないでください。(破損の原因)

ウォータータンクに水を入れた状態で持ち運ばないでください。(水漏れ・故障の原因)

ウォータータンク内MAX以上の水を入れしないでください。(吹きこぼれ・やけど・故障の原因)

ウォータータンクに水が入っていない状態で使用しないでください。(やけど・故障の原因)

ウォータータンク内にコーヒーの粉など異物を入れしないでください。(故障の原因)

ウォータータンクに水以外のもの(お湯・ミルク・酒・コーヒー等)を入れて使用しないでください。(吹きこぼれ・感電・故障の原因)

ウォータータンクに水を入れた状態で長時間放置しないでください。(故障・変色・においの原因)

ホッパーにコーヒー豆以外のものや生豆を入れないでください。(故障の原因)

グラインドユニットの刃に触れないでください。お手入れは必ず付属のブラシを使用してください。(けがの原因)

抽出後にコーヒー粉を本体に残したままにしないでください。(故障の原因)

直火(ガス台など)、電磁調理器(IH)、電気ヒーター、電子レンジなどで使用しないでください。(火災・故障の原因)

使用用途以外の使用はしないでください。(火災・故障の原因)

この製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。(火災・故障の原因)

倒す・落とす・ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。(けが・やけど・故障の原因)



本体にカラフェ、フィルターホルダー、フィルターを確実にセットしてください。(やけど・故障の原因)

カラフェは空の状態に本体にセットしてください。(やけど・故障の原因)

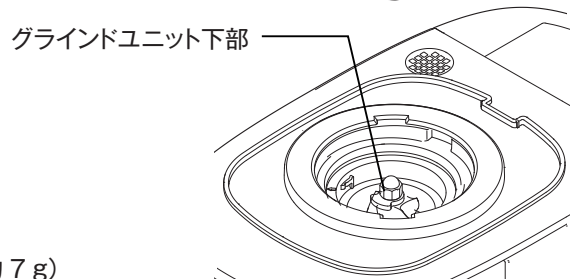
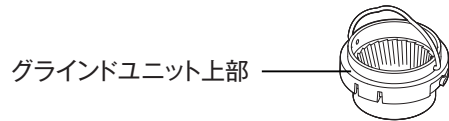
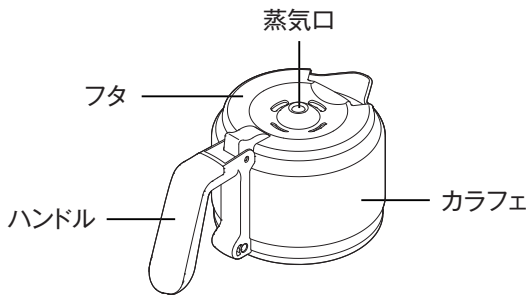
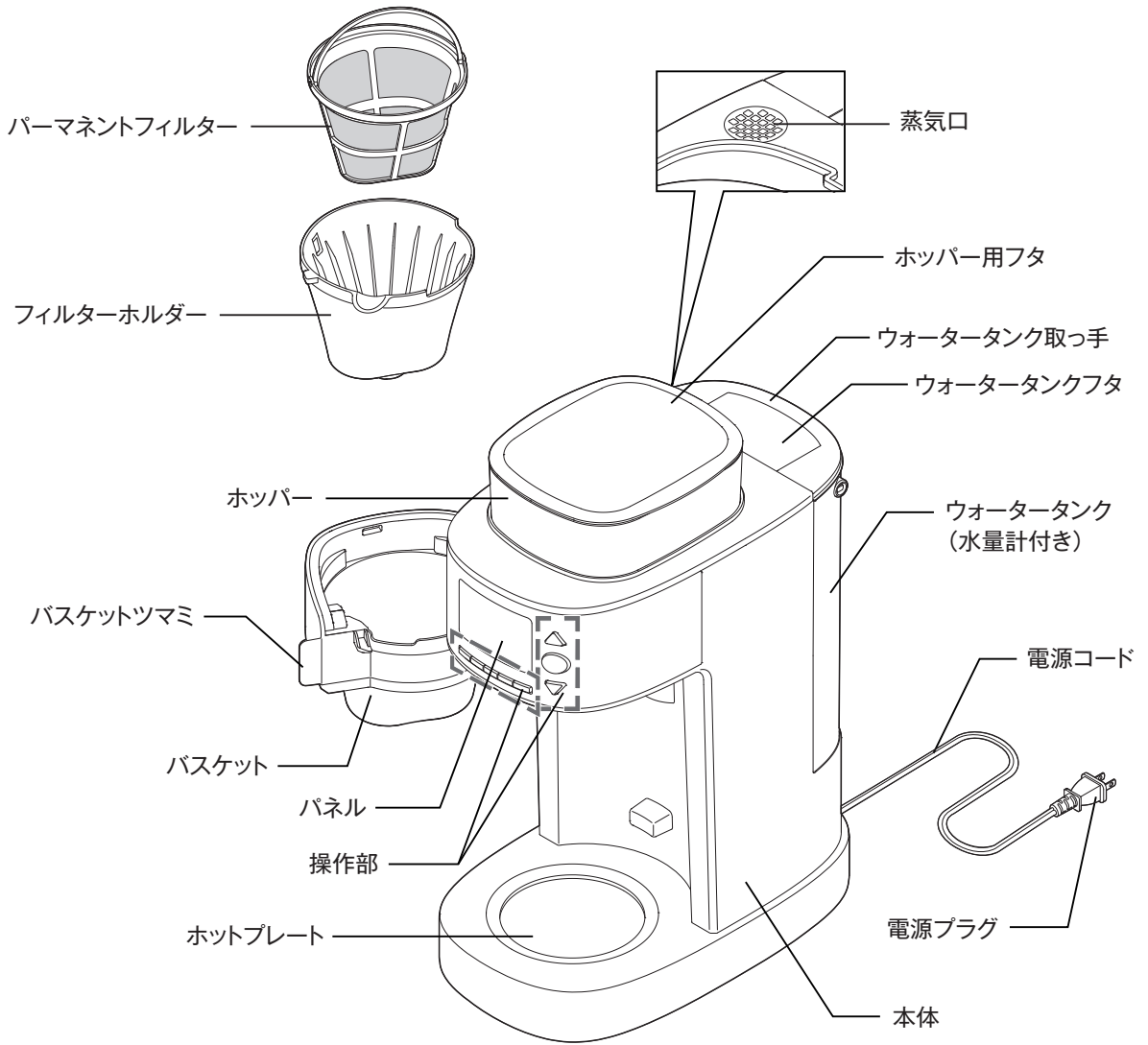
2回以上、連続使用する場合は自動保温を中止して、30分間冷ましてから使用してください。(やけど・故障の原因)

お手入れは本体を十分に冷ましてから行ってください。(やけどの原因)

入れたてのコーヒーは熱いのでお飲みになる時はご注意ください。(やけどの原因)

ミネラルウォーターを使用した場合は、お手入れをこまめにしてください。本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム分が剥がれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐ恐れがあります。(故障の原因)

各部の名称とはたらき



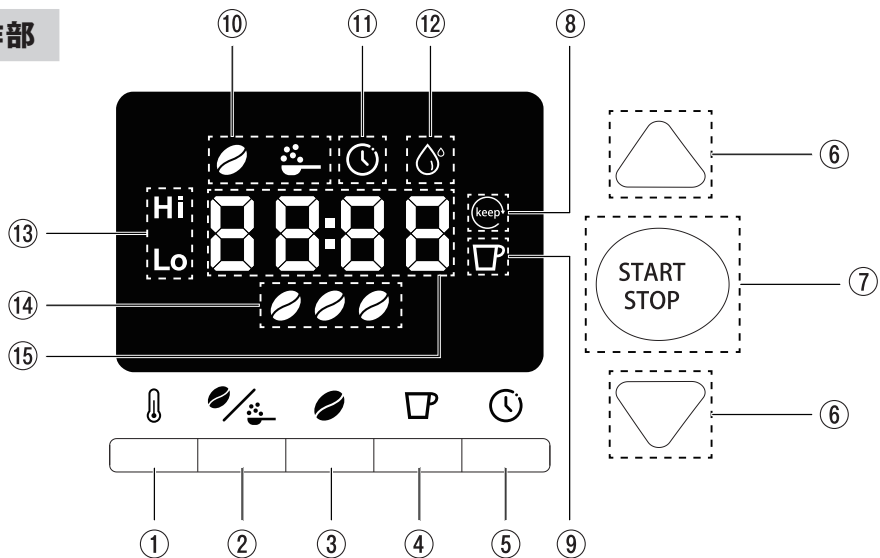
ブラシ



スプーン (すりきり1杯約7g)

各部の名称とはたらき

パネル・操作部



- 全てのボタンは押すと操作音が出ます。各抽出サイクルの開始時と終了時にお知らせ音がかかります。
- 電源プラグがコンセントに差し込まれている場合、約5分間操作しないと自動的に電源オフ(待機モード)になります。
- 直近の設定を記憶しています。電源プラグをコンセントから抜くと、設定は全てリセットされます。

NO.	アイコン	ボタン/ランプ	説明
①		抽出温度選択ボタン	コーヒーの抽出温度を選択します。 Hi: 約 94°C、Lo: 約 84°C
②		モード選択ボタン	モードを選択します。 ●: 豆からコーヒーを淹れる ☕: 粉からコーヒーを淹れる
③		濃度選択ボタン	コーヒーの濃さを選択します。 ●: 薄め ●●: 普通 ●●●: 濃いめ
④		カップ数ボタン	コーヒーのカップ数(2~6杯)を設定します。
⑤		予約ボタン	時計を設定します。 長押しで予約タイマーを設定します。
⑥		アップ/ダウンボタン	時計/予約タイマー/保温タイマー/カップ数を設定します。 ボタンを押すと数値が増減します。長押しすると数値を早送りできます。
⑦		START/STOP ボタン	抽出を開始/中止、時計や予約タイマーを確定/解除します。 長押しで設定をリセットすることができます。
⑧		保温ランプ	保温機能を設定すると点灯します。
⑨		カップ数ランプ	カップ数を選択するときに点灯します。
⑩		モード(豆)/モード(粉)ランプ	選択したモードのランプが点灯します。
⑪		予約ランプ	予約タイマーを設定すると点灯します。
⑫		クリーニングランプ	約60回使用すると点灯します。 お手入れの目安をお知らせします。
⑬	Hi/Lo	抽出温度ランプ	選択した抽出温度のランプが点灯します。
⑭		濃度ランプ	選択した濃度のランプが点灯します。
⑮	88:88	数字表示	現在時刻、予約タイマー時刻、保温タイマー、カップ数、エラー番号が表示されます。

部品を取り付ける / 取り外す

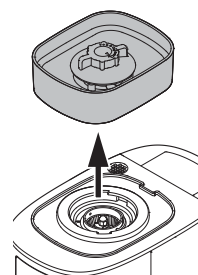
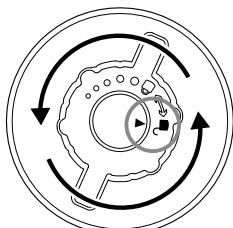
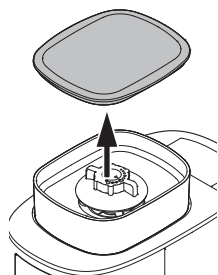


- 部品を取り付ける・取り外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
(感電・ショート・やけど・火災の原因となります。)
- 使用後は、本体を十分に冷ましてから部品を取り外してください。
(やけどの原因となります。)

ホッパー用フタ・ホッパー

■取り外しかた

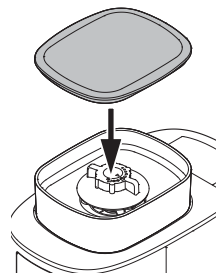
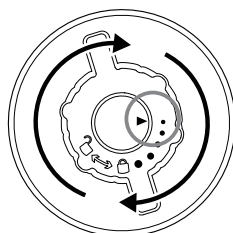
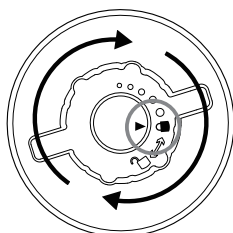
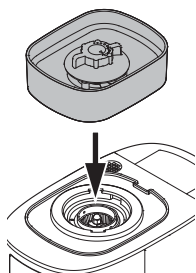
- ①ホッパー用フタを持ち上げます。
- ②粒度調節ダイヤルを反時計回りに回してホッパーの▲と🔒を合わせ、持ち上げます。



【粒度調節ダイヤル】

■取り付けかた

- ①ホッパーをはめ込み、▲を🔒から🔓の位置まで時計回りに回して合わせます。
- ②さらに時計回りの方向に、止まる位置(一番小さい○印の位置)まで回します。
- ③フタを取り付けます。



【粒度調節ダイヤル】

【粒度調節ダイヤル】

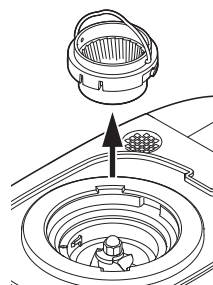
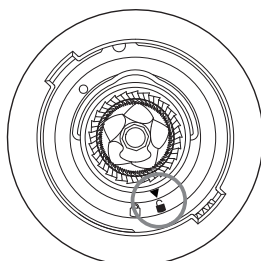
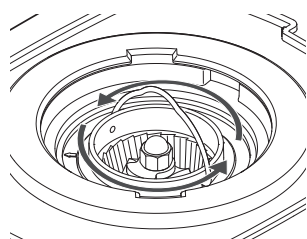
グラインドユニット上部



- 豆が残っている場合は、取り外し・取り付けはしないでください。(故障の原因となります。)
- 豆が残っている場合の操作方法については、P23をご参照ください。

■取り外しかた

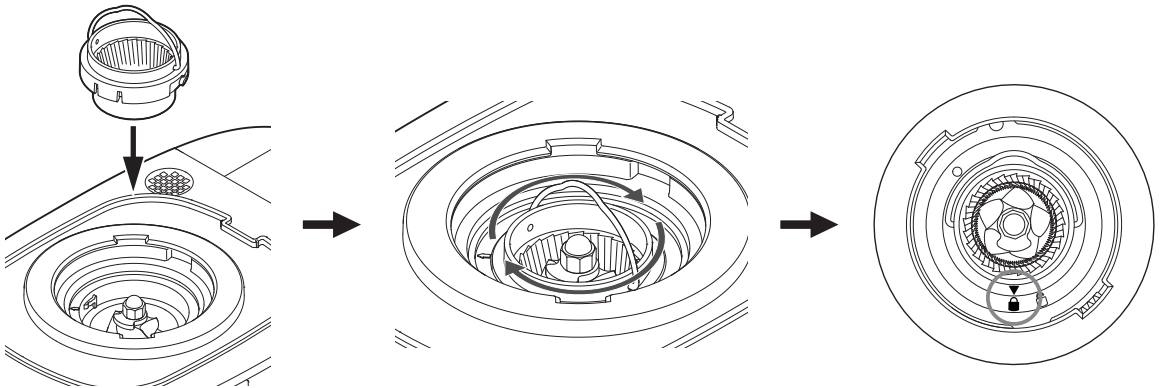
グラインドユニット上部の取っ手を持ち、反時計回りに回して、▲と🔒を合わせ、持ち上げます。



部品を取り付ける / 取り外す

■取り付けかた

- ① グラインドユニット上部をグラインドユニット下部に挿し込んでから軽く回して、奥まではまる位置に合わせます。
- ② ▲と ■ を合わせるように、時計回りに回します。



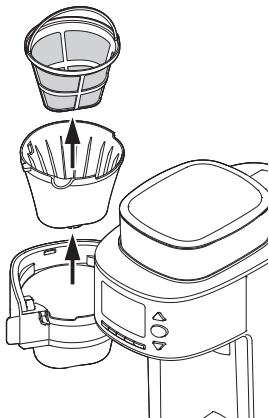
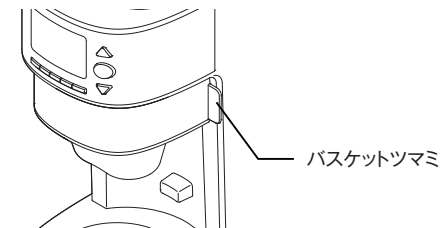
フィルターホルダー・パーマネントフィルター



使用中や使用直後は絶対にバスケットを開けないでください。
(やけど・けがの原因となります。)

■取り外しかた

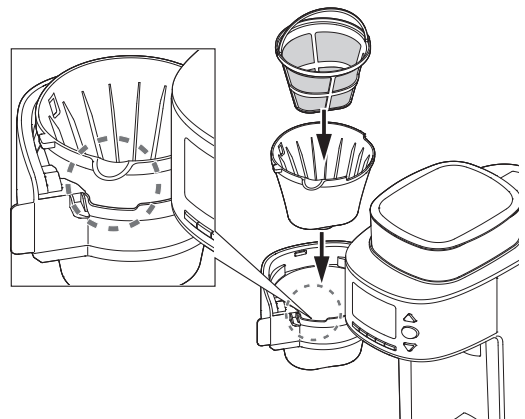
- ① バスケットツマミを持ち、手前にスライドさせて開けます。
- ② パーマネントフィルター、フィルターホルダーを取り外します。



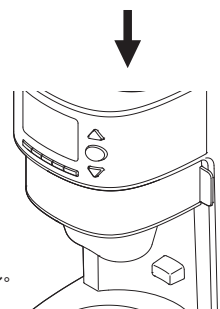
バスケットを開けるときは、先にカラフェをホットプレートから取り外してください。(カラフェが落下してけがや故障の原因となります。)

■取り付けかた

- ① フィルターホルダーの取っ手をバスケットの溝に合わせて取り付けます。
- ② パーマネントフィルターを取り付けます。
- ③ バスケットを閉めます。



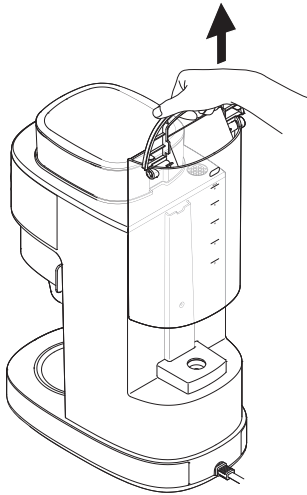
※バスケットは本体から外せません。



ウォータータンク

■取り外しかた

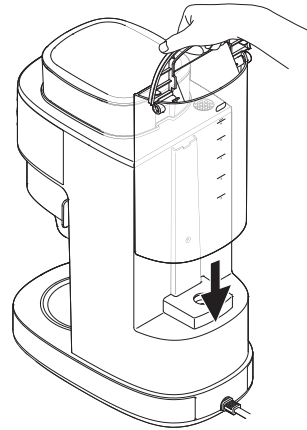
ウォータータンクの取っ手を持ち上げます。



■取り付けかた

本体に沿って、ウォータータンクを押し込みます。

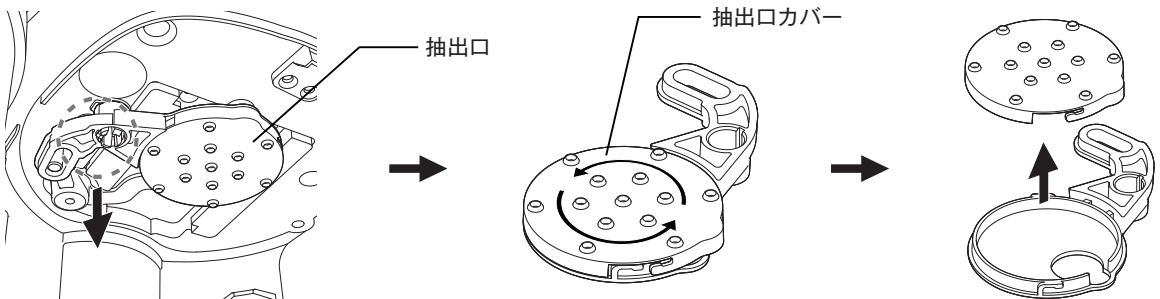
※ウォータータンクと本体との間にすき間がなくなるまで、しっかりと押し込んでください。



抽出口

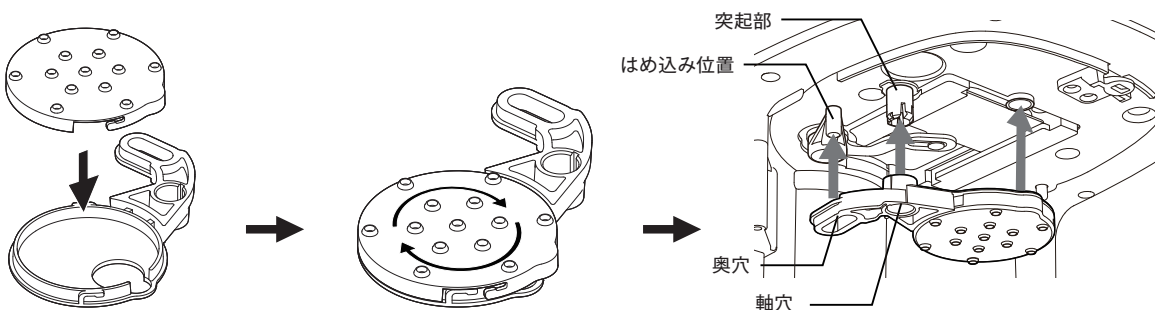
■取り外しかた

- ①抽出口の後部をつまんで下に引っ張って取り外します。
- ②抽出口カバーを反時計回りに回して取り外します。



■取り付けかた

- ①抽出口カバーを時計回りに止まるまで回して取り付けます。
- ②抽出口の軸穴と突起部を合わせて少し差し込みます。
- ③同時に抽出口の奥穴をはめ込み位置に合わせて全て差し込みます。



使用前の準備

設置

壁や家具から十分距離を置いて設置してください。

前面および上方は開放するように設置してください。

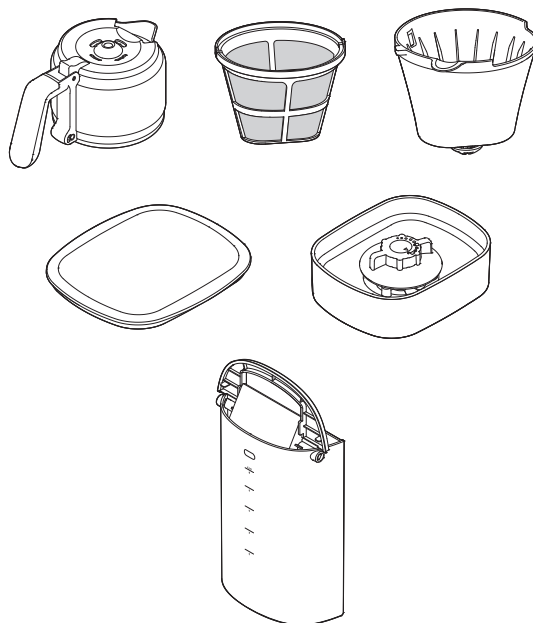
- 壁や家具などの近くに置くと、壁や家具の変色・変形の原因となります。
- 電源コードは、本体の下を通したり、温度の高くなる部分に近づけないでください。
- 本体の上や下に熱に弱いものを置いたり敷いたりしないでください。

初めて使用するとき

初めてご使用になる時や長期間使わないで保管してあった場合は、以下の手順で洗浄を行ってください。

1 付属品を洗浄する

1 ウォータータンク、カラフェ、パーマネントフィルター、フィルターホルダー、ホッパー用フタ、ホッパーは食器用中性洗剤を使用して柔らかいスポンジで水洗いしてください。



2 洗浄後は乾いた柔らかい布で水分を拭き取って乾燥させてから、本体に取り付けてください。

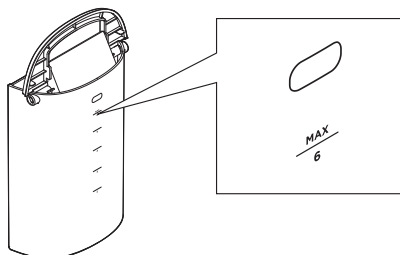
- 「部品を取り付ける・取り外す」⇒P 9～11
- 「お手入れ」⇒P 21

2 本体の内部を洗浄する



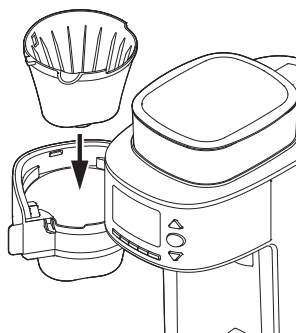
本体の内部を洗浄するときは、コーヒー豆・コーヒー粉を入れずに水だけで抽出してください。

1 ウォータータンクのMAX(6杯分)目盛まで水を入れて、本体に取り付ける

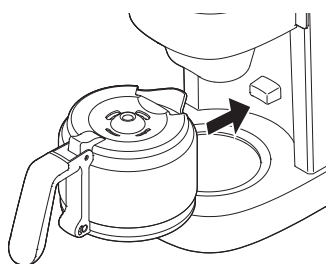


2 フィルターホルダーをバスケットに取り付ける

パーマネントフィルターはセットしないでください。



3 カラフェをホットプレートにセットする



4 電源プラグをコンセントに差し込む

5 モード、抽出温度、カップ数を設定する

- ①【モード選択】ボタンを押し、【】粉モードを選択する。
- ②【抽出温度選択】ボタンを押し、【Hi】に設定する。
- ③【カップ数】ボタンを押し、【アップ/ダウン】ボタンを押して、カップ数6杯に設定する。



- ・抽出中にカラフェをホットプレートから外さないでください。(やけどの原因となります。)
- ・抽出中は絶対にバスケットを開けないでください。(やけど・けがの原因となります。)

6 【START/STOP】ボタンを押して、抽出を開始する

ブザー音が鳴って、抽出が始まります。抽出中は【START/STOP】ボタンが点滅します。



7 抽出が終了したら、【START/STOP】ボタンを押して電源を切り、カラフェのお湯を捨てて水ですすぐ

抽出終了後は自動保温モードに切り替わります。洗浄後は必ず電源を切ってください。

使い始めのうちは本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。使用するうちに少なくなります。気になる場合は1~2回水だけで洗浄運転を繰り返してください。それでも気になる場合は「本体内部のクエン酸洗浄」⇒P22の手順で洗浄を行ってください。

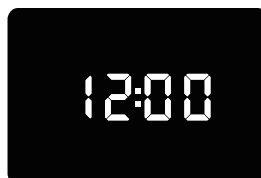
使用前の準備

時計を設定する

予約タイマーを使うには、時計の設定が必要です。電源プラグをコンセントに差し込んだら、はじめに時計を設定してください。

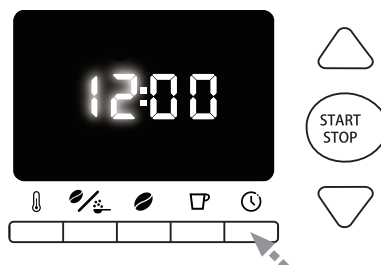
1 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグをコンセントに差し込むと待機モードになり、パネルには「12:00」が表示されます。



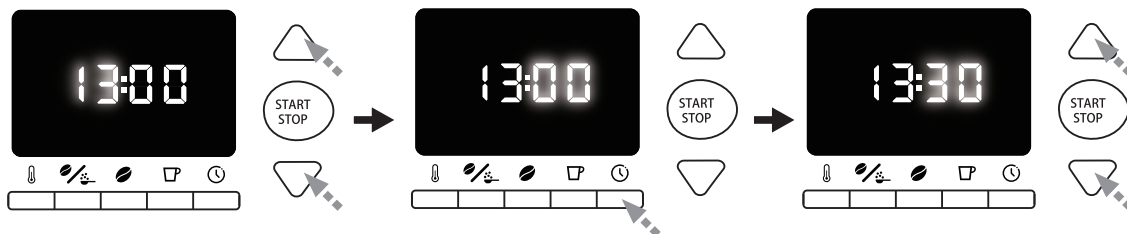
2 【🕒 予約】 ボタンを押す

- 【🕒 予約】 ボタンを押すとパネルの「12」が点滅します。



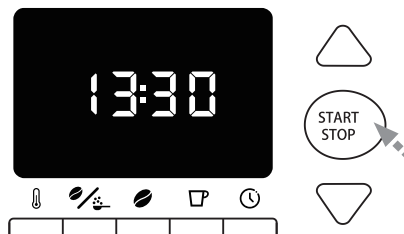
3 現在時刻を設定する

- パネルに「12」が点滅したら、【アップ / ダウン】 ボタンを押し、「時間」の数値を設定します。
 - 再度【🕒 予約】 ボタンを押すとパネルの「00」が点滅します。
 - パネルに「00」が点滅したら、【アップ / ダウン】 ボタンを押し、「分」の数値を設定します。
- ※【アップ / ダウン】 ボタンは長押しすることで数値を早送りすることができます。
- ※約 10 秒間操作しないと、本設定前のパネル表示に戻ります。その場合は、再度【🕒 予約】 ボタンを押してください。



4 【START/STOP】 ボタンを押して、確定する

- 【START/STOP】 ボタンを押すと、パネルの表示が2回点滅して、設定完了します。



電源プラグをコンセントから抜いたときや、停電によって電源が遮断されたときは、時計の設定がリセットされます。時計の設定がリセットされた場合は設定し直してください。

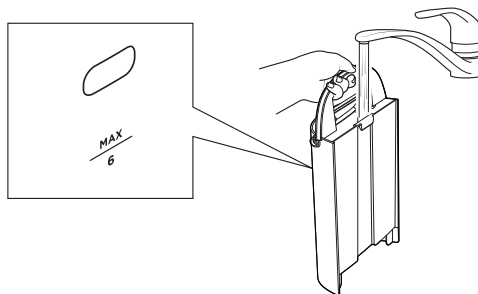
ご使用方法



ご使用前に必ずP 4 ~ P 6 の「安全上のご注意」をよくお読みください。

1 ウォータータンクに水を入れ、本体に取り付ける

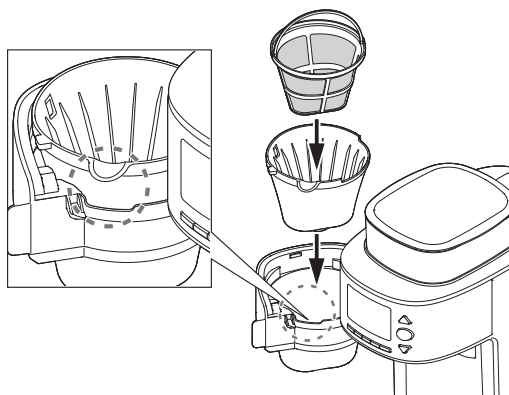
- 「取り外しかた・取り付けかた」→ P 11
- ウォータータンクを本体に取り付けた後は、本体内部に水が流れ込むため、目盛りより水位が下がります。
- 使用する水量は選択したカップ数に応じて抽出するため、抽出後もタンクに水が残る場合があります。



- ペーパーフィルターを使用する場合は 5 杯までにしてください。
(コーヒーの吹きこぼれ・故障の原因となります。)
- ウォータータンクにお湯を入れないでください。(吹きこぼれ・感電・故障の原因となります。)
- ウォータータンクを本体に取り付けた状態で、水を入れないでください。
(本体内部に水が流れ込むため、規定量より多く入ります。)
- 満水の目盛り MAX(6 杯分)以上の水は入れないでください。(吹きこぼれの原因となります。)
- 最低の目盛り(2 杯分)より多くの水を入れてください。(空だきすると、故障の原因となります。)
- ウォータータンクの取り付けや取り外しの際は、上部から水がこぼれないようにご注意ください。
(本体に水がかかると、故障の原因となります。)

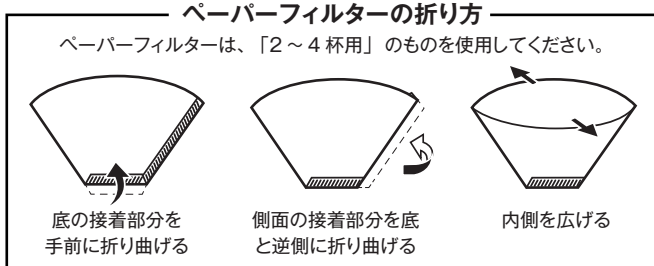
2 フィルターホルダーとパーマネントフィルターを取り付ける

- ① バスケットを開けます。
- ② フィルターホルダーにパーマネントフィルターまたは市販のペーパーフィルターをセットしてバスケットに取り付けます。



フィルターについて

付属のパーマネントフィルターまたは市販のペーパーフィルターが使えます。パーマネントフィルターは使用後に洗浄して繰り返し使用できます。パーマネントフィルターを使用する場合は、ペーパーフィルターは使用しません。また、ペーパーフィルターを使用する際は、下記の折り方を参照してください。



- パーマネントフィルターで抽出したコーヒーにはコーヒーの微粉が残る場合があります。
- ペーパーフィルターはサイズが合っていないとうまく抽出できない場合があります。

ご使用方法

3 コーヒー豆またはコーヒー粉を入れる

コーヒー豆の場合

- ① ホッパー用フタを取り外します。
- ② 粒度調節ダイヤルを回して、粒度を設定します。
- ③ ホッパーにコーヒー豆を入れます。
コーヒー豆の量は、カップ数に応じて自動調整されます。
※ホッパーの最大容量は約 100 g です。
- ④ ホッパー用フタを取り付けます。



コーヒー豆から淹れる場合は、必ずバスケットの中にコーヒー粉がないことを確認してください。(湯やコーヒーの吹きこぼれ・やけど・故障の原因となります。)

コーヒー粉の場合

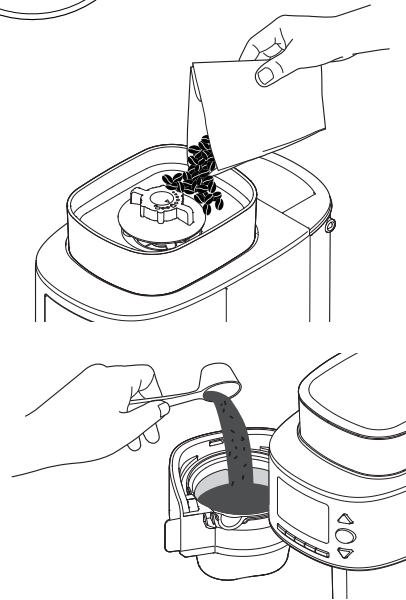
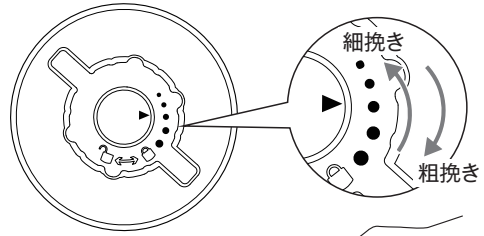
- ① バスケットを開けます。
- ② 取り付けたパーマネントフィルターまたはペーパーフィルター（市販）にコーヒー粉を入れます。
- ③ バスケットを閉めます。

コーヒー粉と水の目安量

カップ数	コーヒー豆・粉量			使用水量
	●	●●	●●●	
2 杯	14g	16g	18g	約 280ml
3 杯	22g	24g	26g	約 420ml
4 杯	30g	32g	34g	約 560ml
5 杯	36g	38g	40g	約 700ml
6 杯	40g	42g	44g	約 820ml

※コーヒーの味は豆の種類、焙煎の度合、水の量で変わりますので、お好みに合わせて調節してください。

「粒度調節ダイヤル」



- ペーパーフィルターを使用する場合は 5 杯までにしてください。(コーヒーの吹きこぼれ・故障の原因となります。)
- バスケットを閉めるときは先にカラフェをホットプレートから取り外してください。(カラフェが落下してけが・故障の原因となります。)

4 カラフェをホットプレートにセットする












カラフェについて

付属のカラフェはこのコーヒーメーカー専用です。他のカラフェや保温ポットを使用しないでください。
※コーヒーの温度が低いと感じた場合には、あらかじめカラフェをお湯で温めておくとう効果的です。



直接火にかけたり、電子レンジで温めたりしないでください。(破損の原因となります。)

5 モード、抽出温度、濃度、カップ数を設定する

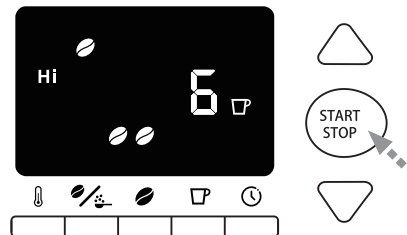
	【モード選択】 ボタン	ボタンを押してコーヒーを豆から挽いて淹れるか、粉から淹れるかを選択します。 ・「  」: 豆からコーヒーを淹れる ・「  」: 粉からコーヒーを淹れる
	【抽出温度選択】 ボタン	ボタンを押してコーヒー抽出時に使用する湯温を設定します。 ・「 Hi 」: 約 94℃ ・「 Lo 」: 約 84℃ ※室温や水温によって変動する場合があります。 ※実際のコーヒーの温度は上記の湯温よりも低くなります。
	【濃度選択】 ボタン	「  」豆モードを選択した場合は濃度を設定できます。 ボタンを押してコーヒーの濃さを設定します。 ・「  」: 薄め ・「  」: 普通 ・「  」: 濃いめ ※「  」粉モードを選択した場合は設定出来ません。 コーヒー粉の量を調整してください。
	【カップ数】 ボタン	ボタンを押してコーヒーのカップ数を設定します。 【アップ / ダウン】 ボタンを押しても設定できます。 ⚠ ペーパーフィルターを使用する場合は5杯までにしてください。

※約 5 分間操作しないと待機モードになります。

6 【START/STOP】 ボタンを押して、抽出を開始する


- ブザー音が鳴って、抽出が始まります。抽出中は【START/STOP】ボタンが点滅します。
- 抽出を一時停止する場合は、【START/STOP】ボタンを押します。
- 抽出を中止する場合は、【START/STOP】ボタンを長押しします。

※コーヒー豆を挽いているときは大きな音がしますが、異常ではありません。

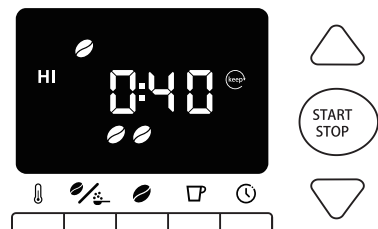


抽出中は絶対にバスケットを開けないでください。
(やけど・けがの原因となります。)

7 抽出が終了する

- 抽出が終了すると、ブザー音が鳴って、【START/STOP】ボタンが点滅し、【 保温】ランプが点灯し、自動保温モード(40分)に切り替わります。
- 保温を解除する場合は、【START/STOP】ボタンを押してください。

※保温中はパネルに残りの保温時間がカウント表示されます。



ご使用方法

保温タイマーについて

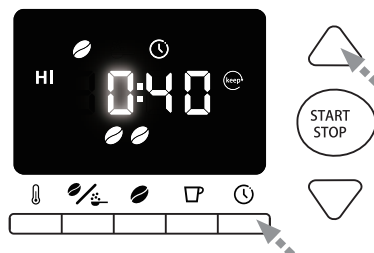
抽出終了後は自動保温モード(40分)に切り替わります。

※保温タイマーは10分~2時間(1分単位)で設定できます。変更する場合は、抽出前に設定してください。

1 【予約】ボタンと【アップ】ボタンを同時に長押しする

- 【予約】ボタンと【アップ】ボタンを同時に長押しすると、パネルの「0」が点滅します。

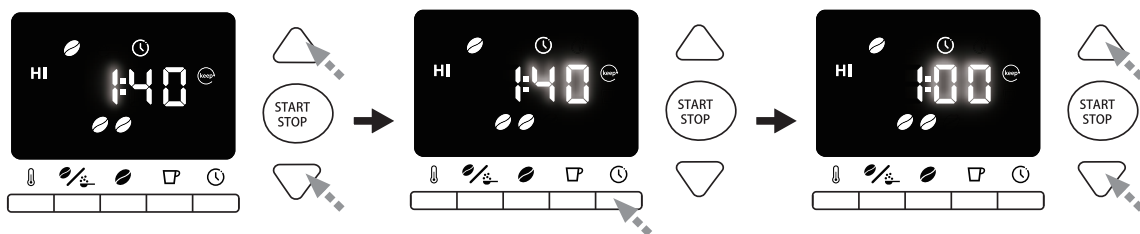
※約10秒間操作しないと、初期の自動保温モード(40分)に戻ります。



2 保温タイマーを設定する

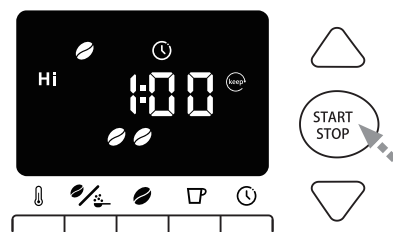
- パネルに「0」が点滅したら、【アップ/ダウン】ボタンを押し、「時間」の数値を設定します。
- 再度【予約】ボタンを押すとパネルの「40」が点滅します。
- パネルに「40」が点滅したら、【アップ/ダウン】ボタンを押し、「分」の数値を設定します。

※【アップ/ダウン】ボタンは長押しすることで数値を早送りすることができます。



3 【START/STOP】ボタンを押して、確定する

【START/STOP】ボタンを押すと、パネルの表示が2回点滅して、設定完了します。



- コーヒーの抽出中や抽出直後は蒸気が発生するため、バスケットを開けないでください。(やけどの原因となります。)
- 本体上部の蒸気口周辺に手や顔を近づけないでください。(やけどの原因となります。)
- 抽出直後のカラフェは高温になっています。カラフェを持つときは必ず取っ手を持ち、取っ手以外に触らないように注意してください。(やけどの原因となります。)
- カラフェの蒸気口からは高温の蒸気が出ます。できたてのコーヒーはとても熱いので勢いよく注がないでください。(やけどの原因となります。)

予約タイマーの設定について

予約タイマーを使うと、あらかじめ設定した時刻に抽出を開始できます。

予約タイマーを使うには、時計の設定が必要です。あらかじめ設定を行ってください。→「時計を設定する」P 14

1 部品を取り付け、ウォータータンクに水を入れ、コーヒー豆またはコーヒー粉を入れる

「ご使用方法」(P 15 ~ P 16)の手順 1 ~ 4 を参照してください。



カラフェ、フィルターホルダー、パーマメントフィルターまたはペーパーフィルター（市販）を必ずセットしてください。（抽出中にコーヒーがあふれ出し、機器の故障・周囲の汚損の原因となります。）

2 [START/STOP] ボタンを押して、電源を入れる

3 モード、抽出温度、濃度、カップ数を設定する

「ご使用方法」(P 17)の手順 5 を参照してください。

4 [🕒 予約] ボタンを長押しして、タイマー時刻の設定モードに切り替える

タイマー時刻の設定モードに切り替わると、パネルの「12」が点滅し、[🕒 予約] ランプが点灯します。



5 タイマー時刻を設定する

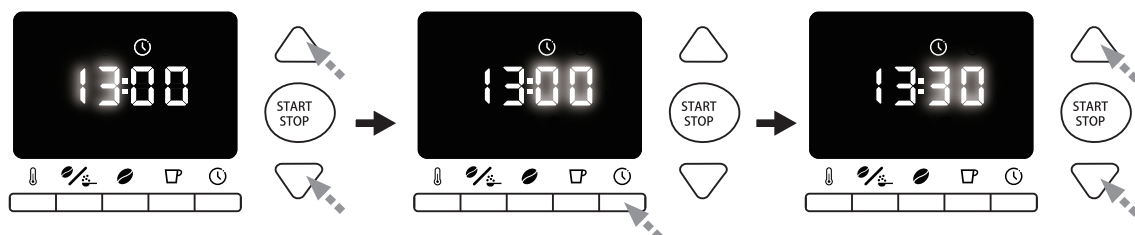
●【アップ / ダウン】 ボタンを押して、「時間」の数値を設定します。

●再度 [🕒 予約] ボタンを押すとパネルの「00」が点滅します。

●【アップ / ダウン】 ボタンを押して、「分」の数値を設定します。

※【アップ / ダウン】 ボタンは長押しすることで数値を早送りすることができます。

※約 10 秒間操作しないと、本設定前のパネル表示に戻ります。その場合は、再度 [🕒 予約] ボタンを長押ししてください。



6 [START/STOP] ボタンを押して、確定する

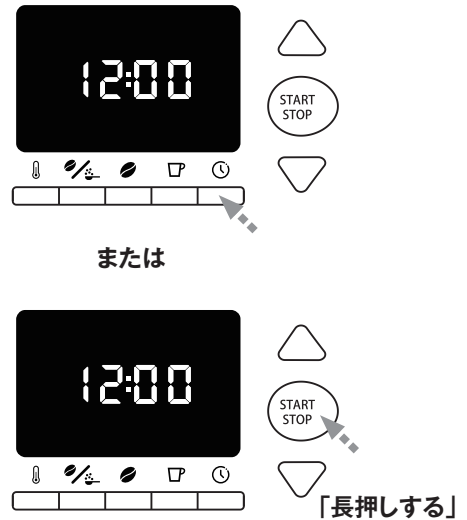
パネルが 2 回点滅し、[🕒 予約] ランプとタイマー時刻が点灯します。予約完了後に、設定時刻が表示されます。



ご使用方法

予約タイマーの解除について

- 予約タイマーを解除するには【🕒 予約】ボタンを押す、または【START/STOP】ボタンを長押しします。
【🕒 予約】ランプが消灯し、予約タイマーが解除されます。
- 設定されたタイマー時刻を変更する場合は、一度予約を解除してから、新たに設定してください。



使い終わったら



使用後は、必ず電源プラグを抜き、本体が完全に冷めてからお手入れをしてください。(やけどの原因となります。)

1 【START/STOP】ボタンを押して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く



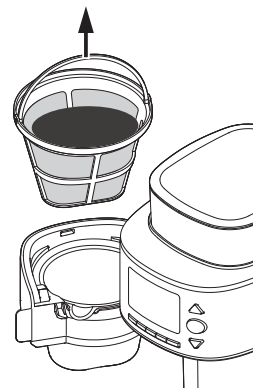
2 抽出済みのコーヒー粉を捨てる

- バスケットを開けて、パーマネントフィルターを取り出します。

「取り外しかた」→P 10



- 抽出済みのコーヒー粉はバスケット内に放置せず、早めにお手入れしてください。(カビや雑菌が発生する原因となります。)
- バスケットを開けるときは、先にカラフェをホットプレートから取り外してください。(カラフェが落下してけが・故障の原因となります。)



3 部品を取り外して、本体のお手入れをする

「お手入れ」→P 21



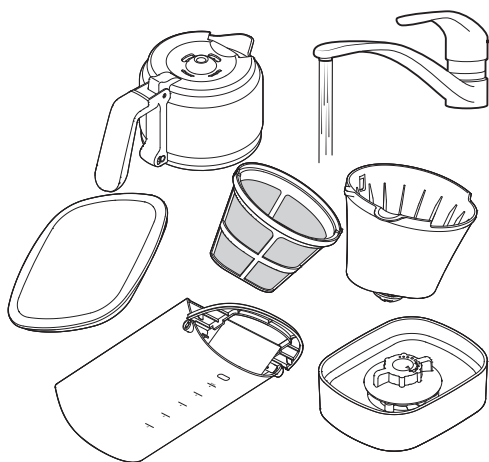
長期間使わない場合は電源プラグを抜いてください。電源プラグをコンセントから抜くと、設定は全てリセットされます。

お手入れの仕方

- 必ず電源プラグを抜き、本体が完全に冷めてからお手入れをしてください。
(やけどの原因となります。)
- 抽出後のコーヒーの粉は、使用後に捨ててください。
(故障の原因となります。)
- お手入れの際、本体を水に浸けたり丸洗いなど絶対にしないでください。
(ショート・感電・故障の原因となります。)
- 本体やホットプレートの拭き取りに、ベンジン・シンナー・磨き粉・タワシなどは使用しないでください。
(傷・変形・変色・故障の原因となります。)
- 食器洗浄機や食器乾燥機は使用しないでください。
(故障の原因となります。)



水洗いできるもの

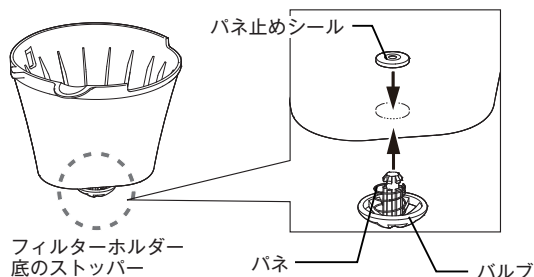


付属のカラフェ、ウォータータンク、パーマネントフィルター、フィルターホルダー、ホッパー用フタ、ホッパーは食器用中性洗剤を使用して洗浄してください。



浸け置き洗いなど、長時間水につけたまま放置しないでください。

フィルターホルダーが分解されたときは



フィルターホルダー底のパーツが分解された場合は、バネ止めシール、バネ、バルブの3点を、上のイラストを参考に、ホルダー底に組み立ててください。

※バルブを強く引っ張ると外れます。洗浄時も分解することがあるのでご注意ください。

抽出口

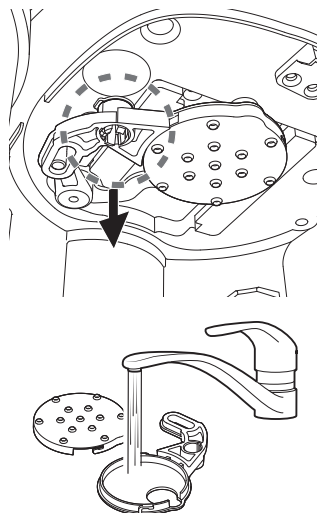
1 バスケットを開けて、抽出口を取り外す

「取り外しかた」⇒P 11

2 抽出口カバーを取り外し、食器用中性洗剤で洗う水でよくすすぐ

3 十分に乾燥させた後、元の位置に取り付ける

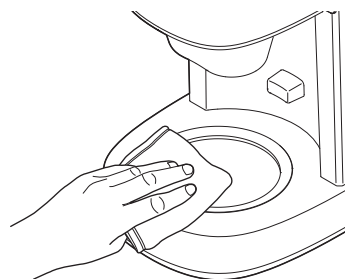
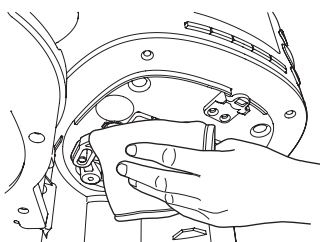
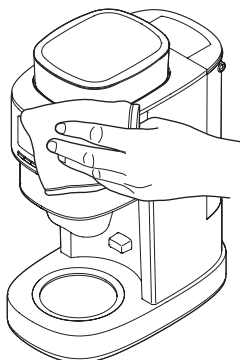
「取り付けかた」⇒P 11




お手入れの仕方

本体外部・ホットプレート

- 汚れ、飛び散った粉を、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 本体外部・ホットプレートの汚れがひどいときは、食器用中性洗剤を薄めた水に布をひたして固く絞り、拭き取ってください。




本体内部のクエン酸洗浄

使用回数が約60回に達すると、パネルの【 クリーニング】ランプが点灯します。お手入れの目安となりますので洗浄してください。

※洗浄を行うと【 クリーニング】ランプが消灯し、使用回数がリセットされます。

※洗浄を行わなくても抽出は可能ですが、定期的に洗浄してください。

- 1** フィルターホルダーをセットします。パーマネントフィルターやペーパーフィルター、コーヒー豆・粉はセットしないでください。
- 2** ウォータータンクにMAX(6杯分)目盛まで水を入れます。
- 3** クエン酸(15g)をウォータータンクに入れます。
- 4** 本体にカラフェをセットします。
- 5** 電源プラグをコンセントに差し込んで、【START/STOP】ボタンを押します。
- 6** 「 カップ数」ボタンを長押しして、クリーニングを開始します。
※抽出洗浄時間は約20分間です。洗浄中に一時停止しますが故障ではありません。
※洗浄を中止する場合は、【START/STOP】ボタンを長押しします。
- 7** クリーニングが終了したら、お湯を捨てて、カラフェをよくすすぎます。
- 8** 最後に洗浄液を洗い流すため、水だけで2回洗浄運転を行ってください。
「本体の内部を洗浄する」▶P13を参照してください。

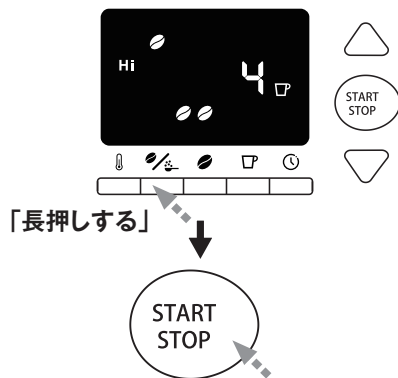
グラインドユニット上部・下部



- グラインドユニット上部と下部は水洗いできません。(さびの原因となります。)
- グラインドユニット内に豆が残っている場合は、全て挽ききってからお手入れしてください。

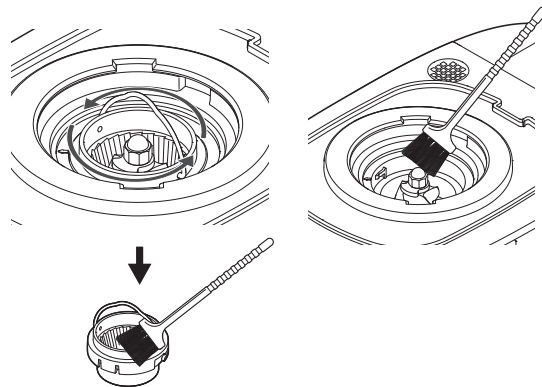
豆が残っている場合

- ①【START/STOP】ボタンを押します。
- ②【濃度選択】ボタンを長押しします。
- ③【START/STOP】ボタンを押すと、中に残っている豆を挽き切ることができます。



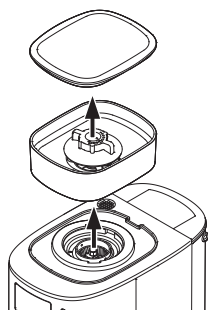
2 グラインドユニット上部を外し、付属のブラシで上部に付着した粉や破片を取り除き、下部および周辺の粉や破片を内部に掃き落とす

「グラインドユニット上部の取り外しかた」▶P 9
 ※内側の円錐状のコンカルカッターの金属刃には指で触れないようにご注意ください。



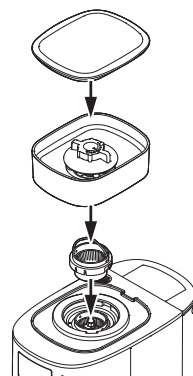
1 ホッパー用フタとホッパーを取り外す

「取り外しかた」▶P 9



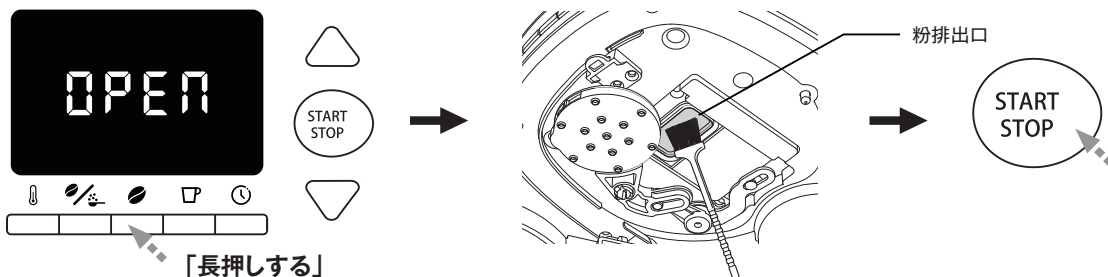
3 グラインドユニット上部、ホッパー、ホッパー用フタを取り付ける

「取り付けかた」▶P 9 ~ P 10



粉排出口

- ①【START/STOP】ボタンを押します。
- ②【濃度選択】ボタンを長押しすると、パネルに「OPEN」と表示され、自動的に抽出口が開きます。
- ③ 付属のブラシで粉排出口の粉を取り除いてください。
- ④ お手入れ後、【START/STOP】ボタンを押して、抽出口を閉めます。



故障かな？と思ったら

以下のことをお確かめになり、それでも症状が改善しない場合には、お買い上げの販売店、もしくは弊社までご連絡ください。

不具合の状態	確認・対策
コーヒーが抽出されない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントに入っているか確認してください。 【START/STOP】ボタンのランプが点滅しているか確認してください。 ウォータータンクに水が入っているか確認してください。 カラフェが正しくセットされているか確認してください。
抽出時間が長い	硬度の高い水などカルシウム分の多い水を使用している場合は、本体内部洗浄を行ってください。「本体のクエン酸洗浄」➡P22
抽出量が少ない	コーヒー粉を多く入れすぎているか確認してください。
抽出液に油が浮いている	コーヒー豆に含まれている油脂分が抽出中に溶け出したものです。
コーヒーがぬるい	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめカラフェをお湯で温めておく効果的です。 ご使用環境や抽出量等によってコーヒーの温度は多少変動します。
樹脂のにおいがする	使いはじめのうちは樹脂などのお臭いがありますが、ご使用とともに少なくなります。「本体内部のクエン酸洗浄」➡P22の手順で洗浄を行ってください。
予約タイマーの設定ができない	時計（現在時刻）を設定しているか確認してください。
コーヒー豆が挽けない/ グラインドユニットがすぐに停止する	グラインドユニット内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていないか確認してください。「グラインドユニットのお手入れ」をしてください。➡P23
コーヒーがバスケットからあふれる	<ul style="list-style-type: none"> フィルターが正しく取り付けられているか確認してください。 44g以上のコーヒー粉をパーマメントフィルターに入れていないか確認してください。正しい量のコーヒー粉を入れてください。 フィルターホルダーにコーヒーの粉が詰まっていないか確認してください。フィルターホルダーはご使用ごとにお手入れしてください。➡P21 カラフェが正しくセットされているか確認してください。
エラーメッセージが表示される	<p>「E1」が表示される➡粉排出口にコーヒー粉が詰まっていないか確認してください。「粉排出口のお手入れ」をしてください。➡P23</p> <p>「E2」が表示される➡ホッパーを正しく取り付けられているか確認してください。</p> <p>「E3」が表示される➡ホッパーが取り付けられていません。</p> <p>「E4」が表示される➡バスケットが閉まっているか確認してください。</p> <p>「E5」が表示される➡ウォータータンクの水が足りません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 抽出中にエラーが表示された場合は、5分以内にウォータータンクに水を追加し、【START/STOP】ボタンを押すと抽出が再開されます。 <p>※パネルに「----」が表示された場合は、再度【START/STOP】ボタンを押すと抽出されます。</p>

仕様

電源	AC100V 50 / 60Hz
消費電力	800W
種類	ドリップ式（水容器着脱型）
保温装置の有無	有
サイズ	約 W17.0 × D29.0 × H39.5cm（カラフェ含まず）
重量	約4kg（カラフェ含む）
コードの長さ	約1.3m
最大使用水量	約820ml（抽出量6 カップ）
ミル方式	コーン式
ホッパーの最大容量	約 100g
付属品	パーマメントフィルター、スプーン、ブラシ

※仕様・デザイン・価格等は予告なく変更になることがありますのでご了承ください。

アフターサービス

保証について

この取扱説明書の内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

- この取扱説明書には、保証書がついています。保証書は販売店にて販売店名、お買い上げ日の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。
- 保証書に販売店名及びお買い上げ年月日の記入が無い場合や、本製品のご購入日を証明する購入証明書が無い場合は、必ず販売店にお問い合わせの上、お受け取り下さい。
- 保証期間はお買い上げ日から1年間です。無料保証規定の内容により、無料修理、またはお取り替えいたします。（保証期間でも有料修理となる場合がありますので、無料保証規定をよくお読みください。）
- 保証期間後の修理は、販売店または弊社までご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

部品のご購入について

本製品は本体以外は消耗品です。付属品や部品等の消耗品のご購入については、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

一部の付属品や部品は、株式会社大石アンドアソシエイツの公式オンラインショップでもお買い求めいただけます。

修理のご依頼について

- 「故障かな?と思ったら」のページをご確認頂いても改善されない場合はご使用をやめて、無料保証規定並びに保証書の内容をよくお読みいただき、お買い上げの販売店または弊社にご連絡の上、修理をお申し付けください。
- 修理をお申し付けの際は、商品型番と商品名、故障の状態を詳しくお知らせください。

⚠ ご自分で分解・修理は絶対しないでください。火災、感電、けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。

付属品・部品の販売サイト

<https://oishi-online.com/>



修理、お取り扱い、お手入れ等に関する受付サイト

<https://russellhobbs.jp/afterservice>



お客様相談窓口

株式会社 大石アンドアソシエイツ

フリーダイヤル



0120-520-227

受付時間 / 10:00 ~ 17:00

(土・日・祝日および弊社休業日を除く)

※時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-28-6-8F

お客様の個人情報は、弊社製品のご相談への対応や修理などに利用させていただき、ご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

Russell Hobbs 保証書

お名前 お客様		型番 8200JP	
お電話番号 お客様	() -	保証期間 1年	お買い上げ日 年 月 日
お客様ご住所		販売店名・住所・電話番号	

無料保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理またはお取り替えいたします。無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店または弊社に、商品と保証書をご提示いただき、お申し付けください。

1. 保証期間内でも以下の場合は有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の落下や強い衝撃を与えたことによる、故障および損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災、異常電圧、指定以外の電圧・周波数での使用などによる故障および損傷。
- (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合の移動中での故障および損傷。
- (ホ) 本書の提示がない場合。
- (ヘ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは字句が書き換えられている場合。または、ご購入を証明する購入証明書(納品書、レシート等)をご提示できない場合。

(ト) 一般家庭用以外(たとえば業務用等)にご使用の場合の故障及び損傷。

(チ) 消耗部品の交換。

(リ) ご使用によって生じる汚れ。

(ヌ) 中古品や新古品、第三者からの譲渡品、個人間売買品。

- 2. 保証は日本国内においてのみ有効です。
- 3. 保証書は再発行はいたしませんので、紛失しないように、大切に保管してください。
- 4. 保証期間は1年間です。保証期間以降の修理をご希望される場合は有料修理となります。また、保証期間以降は、補修部品が生産されていない場合など、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 5. 部品保有保証期間は、製造停止後5年間です。
- 6. 本製品は家庭用に設計されておりますので、業務用でのご使用の場合は保証の対象外となります。

This warranty is valid only in Japan.

※この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

英国 Russell Hobbs 日本総販売代理店
株式会社 大石アンドアソシエイツ

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 3-28-6-8F